

カリキュラムポリシー

本校では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるため、次のような編成方針に基づいた教育を実施する。

| 商船学科 | 電子機械工学科 | 情報工学科 |
|--|--|--|
| 商船学科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。 | 電子機械工学科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。 | 情報工学科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を身につけるために、以下の科目群を開設する。 |
| <p>1. リベラルアーツ, 国際的素養を身につけられるように</p> <p>(1) 低学年次に幅広い教養を身につけるために人文社会系科目を設け, 講義を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低学年次にライフ/アースサイエンス, 環境問題などのリベラルアーツ及び汎用的能力に関する科目を設け, 講義を主とした学修方法により展開する。併せて, これら科目では普遍的に有用性をもつ能力や分野横断的能力を涵養する。</p> <p>(3) 低・高学年次に外国語(英語)科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> | | |
| <p>2. 実践的技術者に必要な科学的基礎知識を修得できるように</p> <p>(1) 低学年次に化学や物理, 数学などの自然科学系科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低学年次に情報リテラシーに関する基礎情報系科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> | | |
| <p>3. 商船学的専門基盤知識を修得できるように</p> <p>(1) 低学年次に商船学に関する専門基礎科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低・高学年次に航海系及び機関系の科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> | <p>3. 工学的専門基盤知識を修得できるように</p> <p>(1) 低・高学年次に専門基礎科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低・高学年次に電気電子工学系, 機械工学系の科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> | <p>3. 工学的専門基盤知識を修得できるように</p> <p>(1) 低・高学年次に専門基礎科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低・高学年次に情報工学系の科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> |
| <p>4. 社会実装に応用できる能力を身につけられるように</p> <p>(1) 船舶運航に必要な専門知識と技術修得のための商船系専門科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 航海系に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(3) 機関系に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(4) 全学年を通して校内練習船実習及び実験・実習科目群を展開する。</p> | <p>4. 社会実装に応用できる能力を身につけられるように</p> <p>(1) 低・高学年次に電気電子工学に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低・高学年次に機械工学に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(3) 全学年を通して電気電子工学, 機械工学に関する実験・実習科目群を編成する。</p> | <p>4. 社会実装に応用できる能力を身につけられるように</p> <p>(1) 低・高学年次にソフトウェア系に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(2) 低・高学年次にコンピュータシステム系に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(3) 低・高学年次に情報通信ネットワーク系に関する科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> <p>(4) 低・高学年次に情報数学・情報知識を身につけるために機械系, 電気・電子系, 経済ビジネス系専門科目を設け, 講義や演習を主とした学修方法により展開する。</p> |
| <p>5. 論理的説明力, 周囲との協調性及び自ら学ぶ力を身につけられるように</p> <p>(1) 全学年を通して校内練習船実習を展開する。</p> <p>(2) 卒業研究を設け, 新規課題への取り組み, 自主的な学習・研究能力, 問題解決能力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から, 学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開する。</p> | | |

(成績評価方法の方針)

本校では、授業科目の成績評価は各科目の到達度を設定し以下の方法で行う。

- 講義科目は、定期試験の成績、小テスト、レポート等の提出物、履修状況などを総合して実施する。
- 実験実習、演習等の科目では、定期試験を実施せず、履修状況や提出物等により評価することがある。

(単位認定基準)

教育課程を編成する各科目の学修の成果は、履修状況と定期試験やレポートなどシラバスに記載された評価方法に沿って総合的に評価する。成績は100点法によるものとし、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。